



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 東大

上場会社名 日本精線株式会社

コード番号 5659 URL <http://www.n-seisen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 龍夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 中川 幸朋

TEL 06-6222-5432

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,036	△11.6	1,300	△30.5	1,335	△29.9	830	△30.3
24年3月期第2四半期	17,017	2.9	1,871	3.8	1,904	4.4	1,192	32.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 679百万円 (△37.8%) 24年3月期第2四半期 1,092百万円 (44.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	25.65	—
24年3月期第2四半期	36.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
25年3月期第2四半期	31,905		21,788		67.8		667.54	
24年3月期	31,466		21,271		67.1		651.85	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 21,617百万円 24年3月期 21,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△11.8	2,350	△22.0	2,400	△21.4	1,400	△20.0	43.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	32,461,468 株	24年3月期	32,461,468 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	78,242 株	24年3月期	77,342 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	32,383,584 株	24年3月期2Q	32,387,246 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興による内需押し上げが引き続き景気を下支えし、景気は緩やかながら、回復基調となりましたが、一方で欧州債務問題等による海外経済の低迷や長期化する円高の影響、エコカー補助金の終了、更には中国経済の減速など先行き不透明な状況で推移しました。

当社及び連結子会社（以下「当社グループ」という。）が属するステンレス鋼線業界においても、震災による落ち込みからの回復が続いてきましたが、海外経済の減速を背景に出荷数量は、前年同期比で横這いとなりました。

このような状況下、当社グループでは、高機能・独自製品（ばね用材、耐熱ボルト用材、金属繊維など）の売上高比率70%以上、海外売上高比率30%以上などを経営目標とする『第12次中期計画（ミッション753）』（最終年度平成27年3月期）の達成に向け、収益の一段の向上に鋭意取り組んでまいりました。

ステンレス鋼線部門では、主力のばね用材は堅調に推移したものの、弱電・家電向けや太陽光発電向け等の需要低迷に加え、欧州向けなど輸出が低調に推移した結果、販売数量は前年同期比微減となり、さらに、ニッケル価格変動に伴う販売価格引下げの影響により、売上高は11.0%の減収となりました。金属繊維部門では、主力のナスロンフィルター分野が液晶パネル用などの需要回復の遅れにより高機能樹脂用途が低調に推移し、また超精密ガスフィルター（ナスクリン）が半導体業界での設備投資の低迷期にあたり、大幅減収となりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比11.6%減収の150億36百万円となりました。

損益につきましては、売上高の減少に伴う粗利の減少や工場操業度の悪化等により営業利益13億円（前年同期比30.5%減）、経常利益13億35百万円（同29.9%減）、四半期純利益8億30百万円（同30.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、319億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億38百万円増加いたしました。流動資産は192億97百万円となり、4億8百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品の増加（2億33百万円）並びに現金及び預金の増加（1億97百万円）などです。固定資産は126億8百万円となり、29百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、101億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円減少いたしました。流動負債は60億89百万円となり、76百万円減少いたしました。固定負債は40億27百万円となり、2百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は217億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億16百万円増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は68億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億97百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動におけるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ11億88百万円増加し13億88百万円の収入となりました。これは、主に法人税等支払額の減少などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ86百万円支出が減少しました。主な要因は、有形固定資産取得による支出が減少したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出額が減少したことにより、前年同期に比べて1億61百万円支出が減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月26日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成24年10月30日）別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。尚、業績予想につきましては本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ11百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,578	6,775
受取手形及び売掛金	6,196	6,239
商品及び製品	2,050	2,283
仕掛品	2,221	2,276
原材料及び貯蔵品	1,400	1,246
繰延税金資産	302	321
その他	138	153
流動資産合計	18,888	19,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,945	2,959
機械装置及び運搬具（純額）	4,874	5,235
土地	1,730	1,714
リース資産（純額）	30	24
建設仮勘定	440	197
その他（純額）	231	246
有形固定資産合計	10,253	10,379
無形固定資産	347	307
投資その他の資産	1,977	1,921
固定資産合計	12,578	12,608
資産合計	31,466	31,905
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,825	3,579
短期借入金	451	436
未払法人税等	206	545
賞与引当金	580	580
役員賞与引当金	37	—
資産除去債務	46	46
その他	1,017	900
流動負債合計	6,165	6,089
固定負債		
長期借入金	955	870
退職給付引当金	2,854	2,917
役員退職慰労引当金	109	125
資産除去債務	17	24
その他	94	90
固定負債合計	4,030	4,027
負債合計	10,195	10,116

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,446	5,446
利益剰余金	11,025	11,693
自己株式	△31	△31
株主資本合計	21,440	22,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20	△95
繰延ヘッジ損益	0	—
土地再評価差額金	127	127
為替換算調整勘定	△436	△523
その他の包括利益累計額合計	△330	△491
少数株主持分	161	171
純資産合計	21,271	21,788
負債純資産合計	31,466	31,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	17,017	15,036
売上原価	13,777	12,449
売上総利益	3,240	2,587
販売費及び一般管理費	1,368	1,286
営業利益	1,871	1,300
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	11	8
還付事業税	23	—
為替差益	0	31
その他	22	19
営業外収益合計	59	62
営業外費用		
支払利息	11	10
売上割引	10	9
支払補償費	—	8
その他	4	—
営業外費用合計	26	27
経常利益	1,904	1,335
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	15	13
ゴルフ会員権評価損	—	4
特別損失合計	16	17
税金等調整前四半期純利益	1,888	1,317
法人税、住民税及び事業税	594	515
法人税等調整額	97	△41
法人税等合計	691	473
少数株主損益調整前四半期純利益	1,196	843
少数株主利益	4	13
四半期純利益	1,192	830

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,196	843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	△74
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△58	△90
その他の包括利益合計	△104	△164
四半期包括利益	1,092	679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,089	669
少数株主に係る四半期包括利益	2	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,888	1,317
減価償却費	644	696
ゴルフ会員権評価損	—	4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	42	63
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14	16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40	△0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△41	△37
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△19	—
受取利息及び受取配当金	△13	△11
支払利息	11	10
為替差損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産売却損益 (△は益)	0	—
有形固定資産除却損	15	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△11	△56
前受金の増減額 (△は減少)	15	2
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△174	△155
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△66	△20
仕入債務の増減額 (△は減少)	△232	△232
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△75	△2
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△129	△41
その他	—	△0
小計	1,798	1,567
利息及び配当金の受取額	13	11
利息の支払額	△11	△10
法人税等の支払額	△1,600	△180
営業活動によるキャッシュ・フロー	199	1,388
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△965	△886
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△24	△12
その他	3	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△986	△900
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△0	—
長期借入金の返済による支出	△248	△85
リース債務の返済による支出	△2	△4
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△161	△161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△412	△251
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	△39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,233	197
現金及び現金同等物の期首残高	7,399	6,619
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,165	6,816

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。